

公益社団法人 日本測量協会

発表日時：平成28年3月10日 14:00
(資料配布)

第二回『測量・地理空間情報イノベーション大会』開催予告について

公益社団法人日本測量協会(会長 ^{やぐちあきら} 矢口 彰)は、別紙のとおり第二回『測量・地理空間情報イノベーション大会』を開催しますので、お知らせします。

(問い合わせ先)

公益社団法人 日本測量協会 〒113-0001 東京都文京区白山1-33-18
白山NTビル

住田理事 電話03-3815-5751 (代表)

高橋測量技術教育部長 電話03-5684-3355 (直通)

第二回『測量・地理空間情報イノベーション大会』開催予告

【背景】

公益社団法人日本測量協会は、9,800 名を超す正会員を有し、5,000 名近い地理空間情報専門技術者の認定者が登録されている。しかしながら、正会員や地理空間情報専門技術者の多くが会して、測量・地理空間情報技術に関する最新動向を討議する場がこれまでなかった。また、本協会には本部と全国に 10 支部があるが、全国の会員が一堂に集まる場もなかった。

過去においては、毎年、全国測量技術大会が当協会を含む測量関連 4 団体の共催で測量機器等の展示とシンポジウムの内容で開催されたが、現在では産学官連携による G 空間 EXPO に統合され、これからの G 空間社会やそのための技術等について、広く国民に発信する場として環境が整備されている。一方、「測量・地理空間情報」と言った技術をより深耕させ、さらにそれらの技術動向等をプロ向けに発信していく場を十分に整備できているとは言えない。

このような現状を鑑み、「測量・地理空間情報」に関し全国規模で技術的な情報を発信する場を構築することが必要であり、広く業界の関係者が集うことができる「測量・地理空間情報分野の大会」すなわち、「測量・地理空間情報イノベーション大会」を当協会の公益事業の一環として位置づける。

イノベーションは「技術革新」と訳される。他に例を見ない独自性の高い技術を開発していくことは、「測量・地理空間情報」分野においても重要であり、これを推進することは公益社団法人である本協会の重要な責務と考え、昨年に引き続き第二回「測量・地理空間情報イノベーション大会」を開催する。概要は以下の通り。

【概要】

- 開催日時：平成 28 年 6 月 14 日（火）～15 日（水）
- 大会会場：東京大学伊藤国際学術研究センター（東京都文区本郷 7-3-1）
- 主催：公益社団法人 日本測量協会（日本学術会議協力学術研究団体）
- 共催：スペシャリストの会（空間情報総括監理技術者の会：SP の会）
ジオメトリストの会（地理空間情報専門技術者の会：GM の会）

昨年は同じ東京大学の弥生講堂一条ホール・アネックスで開催したが、延べ 700 名を超える参加者があり、十分な収容規模を確保できなかったことから、本年はより広いスペースを確保できる会場に変更する。プログラム構成についても昨年に引き続き「測量・地理空間情報」に関する新たなビジネス展開、話題の注目技術、最新技術動向などの他、ポスターセッション、スキルアップ、担い手育成、といったテーマなどを加え、より充実した内容とする。

詳細プログラムは月刊「測量」4 月号に掲載するほか、当協会ホームページに 4 月上旬に掲載する。参加申し込みは昨年と同様、当協会ホームページからの事前受付とし 4 月 11 日頃受付を開始する（先着順）。また、本協会の全国 9 支部にも同時中継で配信し、地域会場でも受講可能とする。

第二回「測量・地理空間情報イノベーション大会」企画案

日時：平成 28 年 6 月 14 日（火）～15 日（水）

場所：東京大学伊藤国際学術研究センター（東京都文区本郷 7-3-1）

プログラム（平成 28 年 6 月 14 日（火））

	ホール(500 人)	多目的(100 人)	ギャラリー 1(80 人)	ギャラリー 2(50 人)
10:00-10:15	主催者挨拶			
	これからの測量・地理空間情報のビジネス動向を知る	今の測量・地理空間情報の技術を知る(ポスターセッション)	CPD の現状とこれからの戦略を考える	総合評価時代を生き抜く術を知る(SP 会シンポジウム)
10:15-10:50	Yahoo!カーナビ	UAV : 20 MMS : 5 レーザ : 11 高分解能 : 6 GNSS : 9 その他 : 9	10:15-10:40 計画機関の対応動向	総合評価方式への対応状況
			10:40-11:10 計画機関の取り組み(その 1)	提案書作成に必要なスキル等
10:50-11:25	グーグルマップ	ITS, 情報化施工, CIM 他	11:10-11:35 計画機関の取り組み(その 2)	提案書作成前の準備
11:25-12:00	GNSS ビジネス		11:35-12:00 企業による取組	提案書の書き方のコツ
12:00-13:00	昼休み			
13:00-14:00	展示説明(多目的ホール)			
14:00-15:00	基調講演 (ホール)			
15:00-15:15	休憩			
	測量・地理空間情報技術のイノベーションを実現する	今の測量・地理空間情報の技術を知る	外部から見た測量技術者の「あるべき姿」を聞く	測量・地理空間情報の最新情報を知る(バンダナーフォーラム 8 編)
15:15-15:45	UAV 最前線	ポスターセッション : 60 (継続)	GIS 専門紙	15:15-16:15⇒4 件
15:45-16:15	水中レーザ		業界紙(その 1)	16:30-17:30⇒4 件
16:15-16:30	休憩			
16:30-17:00	著作権戦略	ポスターセッション : 60 (継続)	業界紙(その 2)	
17:00-17:30	女性技術者の会		我々の行動指針	
17:45-	懇親会			

プログラム（平成 28 年 6 月 15 日（水））

	ホール(500 人)	多目的(100 人)	ギャラリー 1(80 人)	ギャラリー 2(50 人)
	今、話題の注目技術を知る(その 1)	3次元地理空間情報の最前線を知る	高分解能衛星の最前線を知る	測量・地理空間情報におけるプロの世界を知る(GM 会)
10:00-10:30	計測ビジネスの最新動向	手軽な 3D 最前線 BIM/CIM、VR/AR	国産衛星の最新動向	本セッションの狙い
10:30-11:00	G 空間プラットフォーム	MMS 最前線 道路計測車両	商業衛星 WorldView-3 活用	UAV 取組事例と討議
11:00-11:30	屋内位置情報サービス	レーザ計測最前線	30cm 分解能衛星を用いた 1/2500 図化	MMS 取組事例と討議
11:30-12:00	超小型衛星	ITS での利活用	SkySat 最新情報	
12:00-13:00	昼休み			
	今、話題の注目技術を知る(その 2)	UAV による 3次元計測の最前線を知る	GNSS の最前線を知る	明日の担い手を育てる
13:00-13:30	UAV マニュアル	CIM での利用	アジア地域における電子基準点	工業高校
13:30-14:00	ICT 森林ビジネス	UAV 運用 morals	アジア地域における情報化施工	測量専門学校
14:00-14:30	津波浸水被害推定	公共測量での利用	アジア地域における GNSS 測量	大学測量学教育
14:30-14:45	休憩			

14:45-15:15	アセット° インテグラト°	パネルディスカッション	マルチ GNSS と RTKLIB	企業内教育
15:15-15:45	ALB		衛星測位(高精度測位)の利活用	人材育成
15:45-16:00	閉会の挨拶 (ホール)			